



《こども版》 としょかんだより No. 324

7・8月号

わくわく本だな

富山市立図書館

今月のおすすめ



★ = 1・2年

★★ = 3・4年

★★★ = 5・6年

—あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします—



「まいごのまめのつる」 (えほん)

こだま ともこ / 作 福音館書店

やさい作りがじょうずなマグばあさんと、りょうりがとくいなメグばあさん。なかがわるい2人は、かおをみてもしらんぷりです。ある朝、マグばあさんがはたけを見ると、まめのつるが外にのびていました。ど^{あさ}んどんつるをたどっていくと、なんと、メグばあさんの庭にまめの実ができていたのです。

「^{いちえんだいおう}一円大王さま」 ★ すとう あさえ / 作 ひさかたチャイルド

ぼくは、はじめてもらったおこづかいでかいものをしました。さいふにのこったのは、1円ぽっきりです。これじゃ、もうなんにもかえないとほったらかしにしていたら、目の前にぼくの^{かお}顔と同じくらいの大きさの1円大王さまがあらわれました。



「リターン！」 ★★★ 山口 理 / 作 文研出版



ブーメランの^{きょうぎ}競技を見て、^{きょうみ}興味をもったイッキは自分でもやってみたくなりました。^{むちゅう}夢中になるイッキを見て、友だちも^{いっしょ}一緒に練習を始めます。大会を^{めき}目指し^{とつくん}特訓を始めた^{とたん}とたん、仲間の1人が^{こっせつ}骨折してしまいました。

あたらしくはいった本

えほん



「ぼくはモンスターのとこやさん」

マシュー・マケリゴット／作・絵 徳間書店

まんげつによる、ぼくはこっそり家をぬけだして、フランケンシュタインやがいこつのためにとこやをひらきます。げろげろシャンプーやでろでろトニックで、ぴったりおにあいのかみがたにしてあげます。

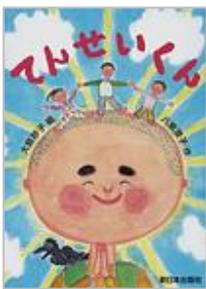
ものがたり

「^{のほら}キツネ野原のレストラン」 ★★ 計良 ふき子／作 ひさかたチャイルド

みづきは野原にレストランを^{かいてん}開店しました。ようやく来てくれたキツネに「野原のかおりをきたいしてきたのに。」と言われます。キツネにさそわれ、外に出かけたみづきは、たんぽぽやよもぎでお日さまパスタやふっくらパンケーキを作ります。



「てんせいくん」 ★★ 八束 澄子／作 新日本出版社



ぼくとてんせいくん、ゆめちゃんとかんちゃんの4人は、「じごくのそうべえ」の劇で^{げき}同じ係^{かかり}をすることになりました。ユメちゃんのことを好きなぼくは、うれしくてたまりません。でも、いつもわらってばかりいるてんせいくと、なかの良いユメちゃんを見ると、なんだかおもしろくない気分です。

「^{ねこ}まねき猫はまぬけ猫？」 ★★ わしお としこ／作 リーブル

まねき猫は、100年間、同じところにすわっていると^{ほんもの}本物の猫になれると言われています。

シロも、100年すわり続け、本物の猫になりました。ある日、町でパン屋さんを開店したばかりの^{かいてん}恵美^{えみ}さんに助けられ、お店をはんじょうさせてあげようと考えます。



ものがたり

「^{ざたく}竜の座卓」 ★★★ 朝比奈 蓉子／作 偕成社



夏休み、てつ兄とぼくは、^{びょうき}病気でたおれたじいちゃんのリハビリをかねて、3人で座卓を作り上げました。ところが、じいちゃんが亡くなると座卓は、あっけなく捨^さてられてしまいます。あきらめきれないてつ兄は、座卓を探し出すことにしました。

「ミルクマンという名の馬」 ★★★

ヒルケ・ローゼンボーム／作 岩波書店



ヘルマンの家の前に、ある朝、1頭^{とう}の馬が入ってきました。人なつっこい馬に「ミルクマン」と名づけたヘルマンは、^{おや}親や^{きんじょ}近所の人から馬をかくすのに必死^{ひっし}になります。その頃^{ころ}、ヘルマンは、あやしい黒服の男たちが、馬を連れさろうとねらっているのに気づきます。

ちしきの本

「^{おきなわ}沖縄の大研究」 屋嘉 宗彦／監修 PHP研究所



沖縄県は日本列島^{にほんれつとう}の1番南にあります。江戸時代まで、日本とは別の国で、琉球王国とよばれていました。そのため、独特^{どくとく}の文化、歴史が今でも残^{とうじ}っています。当時、王さまのお城^{しろ}だった首里^{しゅり}

城^{じょう}や魔よけのための“シーサー”など、沖縄^{みりょく}の魅力を豊富なカラー写真で紹介しています。

「^{こっかい}国会へ行こう！ ① 国会ってしってる？」 教育画劇

国会は、国民の代表として選ばれた議員^{ぎいん}が集まり、国民の暮らしをよくするために話し合うところです。また、法律^{ほうりつ}や税金^{ぜいきん}の使い道なども決められます。この本では、国会の仕事から国会議事堂^{ぎじどう}の秘密^{ひみつ}まで知ることができます。



こんげつのとくしゅう

虫の本



虫をつかまえてみたい。育ててみたい。そんな時におすすめの本をしようかいたします。



「ぼくのわたしのこんちゅうえん」 (えほん) 小林 俊樹／文 福音館書店

くわがたむし、とのさまばったなどの虫たちのかいかたがわかります。

「学校のまわりでさがせる生きもの図鑑」 岡本 秀治／監修 金の星社

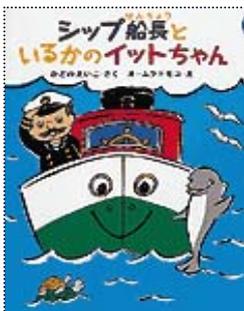
身近で見られる昆虫のからだのつくりや正しい名前がわかります。

「ムシとあそぼう海野和男のムシシシシ 1~5」 海野和男／文 新日本出版社

キャベツの葉のうえ、あお虫1ぴき 大きくなったら何になるのかな？

親子で楽しめるシリーズです。

シリーズしょうかい



「シップ船長」シリーズ (物語)

かどの えいこ／作 偕成社

シップ船長は、海のなんでもやさん。どんなにむずかしいねがいごとも、たのまれるといやとは言いません。世界中の海で大かつやくする船長さんのお話。

「シップ船長といるかのイットちゃん」

いるかのイットちゃんが、すいぞくかんをぬけ出しました。船長さんは、うまく見つけられるかな。

「シップ船長とゆきだるまのユキちゃん」

船長さんは、おばあさんから、南のくにに住むまごにゆきだるまを見せてあげてほしいとたのまれます。

「シップ船長とチャンピオンくん」

ボクシングの世界王者のカンガルーを、はこぶことになりました。船長さんがれんしゅうあいてです。

< 編集・発行 >

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50

電話 076-432-7273